

議会報告会・意見交換会の中止に伴う意見・要望

テーマ①：災害対策について

No.	意見・要望
1	<p>一昨年の台風19号により被災した地域の者ですが、被災時には太田市役所の職員の皆さまをはじめ、関係機関や心ある方々から心温まるご支援やご協力を賜りましたことに対し、心から厚く御礼申し上げます。さて、被災した地区の課題・問題に対し、大掛かりな対策は講じていただいておりますことに対し感謝申し上げますが、地区別に抱えている本来の対策が置き去りにされていることには、今も、これからも生活の不安は払しょくされないままであり、心配な毎日であります。特に沢野地区においては大きな課題であり、問題です。今回の意見交換会で是非ともお話ししたかったのですが、残念です。</p>
2	<p>①中小河川の管理について ・太田市でも1年に1度河川の総点検を実施するべきではないか？（高崎市の取り組みを紹介） ②太田行政センターが本当に避難所として適切なのか ・太田行政センターの2階は市営住宅であり、水害時の避難場所にはなり得ない。 ・河川をまたいで移動するのは危険であるため、八瀬川の東側は太田小学校、西側は西中学校とするのが最も適切であると考えます。 ③避難行動要支援者申請者名簿について ・避難行動要支援者名簿には、現在仕事をしている人や車に乗っている人、すでに死亡している人も含まれており、信ぴょう性に欠けるものである。 ・名簿に登録された人を地域でフォローするのは難しい。要支援者については、市のバスで迎えに行き、災害避難所として使える新市民体育館に避難していただくというのが、一番妥当であると考えます。 ④防災マップについて ・浸水想定区域の色分けが分かりにくい。改訂版作成時には、はっきりとわかるような色使いにしてほしい。</p>
3	<p>台風19号で浸水被害を受け、太田市の対応に非常に疑問がありました。太田市の報告書を読んでも疑問が解消されないため、直接議員の方に伺いたいと思い参加を決めました。 ①令和元年12月定例会 会議録より 「検証の結果は、…地域に報告し…」とありますが、説明を受けていません。いつになったら報告をいただけるのでしょうか。 ②令和元年12月定例会 会議録より 「どこの方が不満を言っているのか私は確認していきたい」、「そんなことを聞いたことはない」とありますが、私の家に市長及び市役所職員は聞き取りに来ておりません。なぜ市長がこんな回答をされたのか、理由を伺いたいと思っていました。 ③大泉町の台風検証報告書 大泉町の報告書を見ると、大泉町の職員は「10月13日から被害のあった住家の消毒を行った」ようですが、太田市は13日は休日。そして「避難に関するアンケート」を避難者に実施し、それを受けて対策をまとめたようだが、太田市の場合は市役所目線でまとめただけ。 ④都市計画法の改正 都市計画法の改正により、令和4年4月1日から災害の危険性が高い区域での開発・建築行為の規制が強化されます。今後の浸水被害の高い可能性に加えて、建築に制限がつく。浸水の報告に加え、建築制限について、地域に説明してください。</p>
4	<p>災害発生時の避難場所について、毛里田地区の避難場所は、第1に毛里田行政センターで、第2に毛里田中学校が設定されています。両施設とも隣同士でまとまっています。ここに避難する場合、高齢者は移動できないことが容易に理解できます。自家用車を運転することができない高齢者や若年者はどうやって避難すれば良いのでしょうか？徒歩でたどり着くことは通常の状態でも無理でしょう。ましてや気象条件等が悪い中では間違いなく無理です。太田市はこのような人達を見殺しにするつもりなのでしょうか？ 清水市長は新体育館を緊急時の避難場所とし、大金をかけて冷暖房完備の施設にするとおっしゃっていますが、そもそもここに避難できる人は、市長の地元の九合地区の人に限られるでしょう。そんな大金をかけて中央に避難所を設定するのであれば、「集会所」の改修を行い、徒歩で避難できる場所の安全性を確保した方が余程良いのではないのでしょうか。</p>
5	<p>リサーチパーク内にある県・市有施設である「産業技術センター」や「産業支援センター」を緊急時に貸して欲しいと要望したところ、「ここも浸水想定地域にあたるのでできない」と断られました。何故「浸水地区」に公共施設を建てるのでしょうか？また、浸水地区と言っても、平屋ではなく2階があるのですから、そこを貸していただき、避難場所にしても良いのではないのでしょうか？ここならば、吉沢町の人達は何とか徒歩で行けるはずですが。</p>
6	<p>そもそも吉沢町から原宿町、只上町、そして蕪川地区、休泊地区に至るまでが浸水地域になるのは、渡良瀬川の一部（太田市側）の堤防が存在しないことに起因します。我々はこれを「霞堤防」としています。この部分からの流入がなければ浸水地域にはならないはずですが、以前、国交省の説明があるはずでしたが、新型コロナウイルスの関係でいまだに叶いません。太田市からの働きかけはないのでしょうか？</p>

No.	意見・要望
7	災害はいつ、どこで起きるか予想がつかないので、備えは出来る限り早く進めたいのでご協力をお願いします。区も人的資源と予算を計上するので、公的機関にも同様に連携して資源提供のご協力をお願いいたします。
8	生活排水管を1年前に撤去されて流れてなく、自然に浸透しているので、降雨時溢れている状態です。今後の対策計画をお聞かせください。

テーマ②：ごみ対策について

No.	意見・要望
1	ごみの年間排出量、市民一人当たりの排出量、資源化率など環境基本計画に基づき、日頃から担当部署はPR運動を実施しているが、過去数十年目標値が達成されていない現状である。ごみ処理システムは確立されているため、4R項目を具体的にトライしてみるべきである。 参考例：ごみ減量モデル地区指定、全市民有志による清掃センター見学会など
2	※ごみステーションについて ごみの分別及び廃棄物の収集日等について、規定がしっかりと守られていない状況にあります。原因の一つとして、太田市は県内の工業都市であるため、外国からの労働者及び研修生の増加がうかがえます。これらの人々が全てとは言えませんが、外国人市民にも理解できるような母国語の案内板（注意事項）の設置をお願いできればと考えています。 母国語例：韓国語、ポルトガル語、ベトナム語他
3	浜町では、数年前にごみステーションを改良し、パイプとネットで箱のようなものを作り、その中にごみを出すタイプに変更しました。それまでは、道端にパイプ一本にネットをつけたものを置き、地べたに置いたごみ袋にネットをかけていました。この方法だと、ごみ袋が多い時はネットからはみ出してしまい、犬、猫、カラスなどがごみ袋を破り、ごみが散乱し、風に飛ばされるなど、とても散らかりました。 市内では、まだこのようなごみステーションが多いように思います。浜町タイプのごみステーションにすると良いと思います。
4	ごみ削減について、去年の協議会で、45Lのごみ袋を値上げする方針が出されましたが、ごみ袋を値上げしてもごみは削減できません。捨てるものに資源があることを市民全体に認知させて、同じ目標を見える化し、取り組むことが必要ではないかと思えます。（拙宅の事例：紙とプラの回収で半減）市役所からの仕掛け、市民をその気にさせる仕掛けと啓蒙が必要だと思えます。
5	ごみ袋（大）の値上げが案内されましたが、3町のごみ有料化はどうなっているのかとの疑問が提示され、多くの方が不満を表明しておりました。私も同感であり、1市3町で焼却施設を建設しながら、ゴミの減量化に対して太田市民のみ個人負担を強いられることは、市民感情として理解し難いことと思われ、早急な3町ごみ処理負担の有料化を望みます。
6	宝町の町営、市営住宅のごみステーション内外に不法投棄が絶えなく、その都度行政の負担でゴミ回収が行われているが、抜本的な対策を望みたい。案としては有効な監視カメラの設置で、防犯対策も併せて期待ができ、宝町のみならず、市内全域での発生スポットへの設置を検討願います。
7	リサイクルと不燃ごみの隔週の収集の件ですが、リサイクルごみの方を月3回で、不燃ごみは月1回で間に合うのではと思います。 衣類に関しては、捨てるにはもったいない状態のものが多く、区ごとに収集する場所を設けてはと思います。
8	指定のごみステーションの回収する曜日、ゴミの種類などが書いてある掲示板が古くなって読み取れないので、新しく表示するとともに、3～4年で交換していく。

No.	意見・要望
9	普段から定期的にゴミ出しについてのルールやお知らせなど、広報車を使って、住民に注意を呼びかける（不法投棄発見のパトロールにもなる）。特に年末年始、ゴミ出しができない日にも、ゴミステーションにゴミが出されたりするので、広報車で注意を呼び掛ける必要があると思う。
10	現在の指定ゴミ袋は、プラスチックや枝などを入れる際に、袋が縦に避けてしまうことがあるので、ゴミ袋の材料を改良してほしい。材料を改良すると今以上にコストがかかるということであれば仕方がないが。
11	「ごみ対策」について、私たちの生活に一番身近で、市民一人一人が考え、行動すること、市民が義務を果たすことが大切だと思っています。コロナの困りごとも、豊かに、わがままに生活し、ごみを大量に出す暮らしによって、温暖化が進み、やっかいなウイルスがまん延した結果です。大きな費用がかかっても、最新のゴミ処理場を造っていただければありがたいです。古い処理場では、環境を悪くすると思います。
12	小学校給食残渣で生ごみ堆肥を作り、作物や花を育てる活動をしています。市政も生ごみ循環（堆肥化）に関してはとても弱腰だと感じています。採算がとれず、長続きしないからでしょうか。しかし、「学校を核とした地域づくり」、「心の豊かさ」、「将来への希望」という観点から考えると、給食残渣（生ごみ）循環事業は、「採算がとれない」には該当しないと思います。
13	一般ごみの排出量では、群馬県は1人1日あたり989gと全国39位であり、太田市は1,004gと群馬県では35市町村中22位の多さである。清掃事業課を中心に様々な努力をしているが減らないのが実情で、今までに実施していなかった対策も必要です。 ①先進地の視察を行い、参考にして対策を検討する。 ・長野県（818gと群馬県と比べ170g少ない） ・小金井市（平成30年度太田市住民協議会で事例報告） ②会議等でペットボトル飲料の配付をやめる。（議会や市が率先して実践する。） ③ゴミ袋（もえるごみ用大）の価格変更（15円→20円）は効果があると思います。
14	太田市に新たに転入手続きをした方に、ごみ出しルールを理解していただけるよう、窓口で説明していただきたい。 ①新住所のゴミステーションの場所は確定していますか？ ②ゴミ出しのルールが理解できていますか？ ③外国からの転入者の方には、母国語で書かれたごみ出しルールを手渡しする。さらに、指定ゴミ袋、粗大ごみシールなどの現物サンプルを1枚、行政サービスとして渡す。
15	毎年配付されるごみ出しルールパンフレットの見直し ①改定があった事項だけを記載し、簡略化する。 ②外国語のパンフレットはダイレクトメールで個別にお届けする。

テーマ③：子育てについて

No.	意見・要望
1	《ヤングケアラーについて》 ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子供のことです。 調査では、17人に1人ヤングケアラーがいるようです。私はもっと多数いて、水面下で見えないのではないかと思います。家族のことなので学校に相談もできない。友人にも話ができない子供が6割いるそうです。 他県では、①支援できる条件づくりとして、ヘルパーさんが家庭に訪問してお手伝いする。②NPO法人などで支援策として「仲間たちの集まる場所の設置」などしています。 以上のことはすぐにはできませんが、相談窓口の設置などを早めにお願ひできたらと思います。設置場所は、例えば図書館や行政センターなどはいかがでしょうか。ご検討の程よろしくお願ひいたします。
2	《ヤングケアラーについて》 最近新聞やニュースでよく目にしますが、太田市の現状はどのようになっているのでしょうか。また、それをどのように支えているのでしょうか。どの子も前を向いて生きていけるよう考えてほしいです。
3	《こどもプラッツについて》 最初の目的は留守家庭の高学年の居場所づくりということで始まったと記憶していますが、今は学童保育の補完どころか、学童の定員が満たなくても証明をもらいに来たり、どういうことになっているのでしょうか。

No.	意見・要望
4	<p>《学童保育について》 国の基準は、1単位40人以下となっていますが、太田市には大規模学童もあります。少子化と言われる中でも、働く親は増えています。ましてや、このコロナ禍で学童保育の必要性が浮き彫りになりました。今、子どもたちも多くのストレスを抱えています。一人ひとりをしっかり見ていくためにも、分割が必要という要望が出た所については、前向きに検討して欲しいです。</p>
5	<p>学童保育の保育料上限9,000円は、どのような討議結果で打ち出されたことでしょうか。各クラブの運営状況は違いますが、このことで指導員の待遇に支障は出ないですか。</p>
6	<p>太田市は学童保育において、保護者会や保育園の法人等が運営をしているクラブがほとんどだが、指定管理者制度による5年ごとの公募で選定、契約することに大きな不安を感じます。公募と非公募があるのも疑問を感じる。選定基準もあいまいな気が…。 子どもたちにとっては、継続した保育と支援が必要なのに、運営者が変わってしまう可能性があって、不安なのは良くないと思う。運営が不安定ということは、指導員の就業の保障も不安定、長く働くことに不安を感じている。継続した保育には、自然と指導員の保障も必要だと思う。</p>
7	<p>公的な施設でありながら、施設によって保育体制、指導員体制等に大きな差があるのは良くない。（国の基準や条例には沿っているはずだが、差はすごくあると思う。）そういった市内の学童でも運営に差があるはずなのに、月謝上限9,000円を市として定められたことにも疑問を感じています。</p>
8	<p>《学童・プラッツについて》 プラッツのスタイルは、基本後ろに手を組んで、井戸端会議スタイル。資格がない人がほとんど。「学童」と「プラッツ」が同じものだと思われることが多い。どういう点が学童という部分なのか、学童があり、なぜプラッツが存在するのかを「太田市独自」だけではなく、もっと詳しく比較、説明を保護者にしてもらいたい。今後「プラッツと学童はなにが違うんですか？」という保護者を減らしたい。</p>
9	<p>プラッツの申込書の配布先が、児童館である場所もあったりしているのに、なぜか印を押すのは学童に来てもらう仕組みがよくわからない。児童館が途中に入ること、印を押しに来る際に、またゼロから学童への入所、プラッツに入所できる条件を説明しなければいけない。二度手間になってしまう。プラッツに入ろうと思ってきたのに、入れなかった保護者の怒り、悲しみが学童に向いてしまう。（そのためにも、上記の学童とプラッツの違いを明確にして欲しい。）入所期間のズレが本当によくある。</p>
10	<p>子どもの気持ちを理解して欲しい。学童とプラッツは一緒になってはいけないというルールのようなものがあり、子ども達は言葉には出さないが、「プラッツの方に行ってはいけない。」ということを知っている。子どものためを思うならば、1日で子どもが遊べる数少ない時間は、一緒に遊ばせてあげたい。場所も資格も全然違う学童とプラッツの気持ちはわかるが、もし一緒に遊べる場所を作れるならば、学童を増やすという考えはないだろうか。</p>
11	<p>《放課後教育について》 学童を利用しているお子さんがいます。学童の中では、管理人がいるものの自由時間として遊ぶ・自主勉強をするのが主となっているようです。その中にシルバー人材センターの方を投入して勉強以外の教育を施していくのはどうかと考えました。</p>
12	<p>《給食費について》 給食費を支払わない人に対しての催促を早期化・厳格化して欲しい。しかし、子供に罪はないので、個別に親に聞き取りして、面談にに応じない、意図的に支払わないと判断された場合は早期対応を行っていただくよう希望します。</p>
13	<p>《給付金の所得制限について》 国の施策により、子育て世帯給付金が支給されましたが、所得制限が設けられました。自治体の中では、制限なく支給されている場所もあると聞きましたが、子供に所得は関係ないと考えます。所得制限を設けた場合、ぎりぎり上回った人は、ぎりぎり下回った人と逆転する現象が発生することから、上限を引き上げるのではなく、撤廃して全員に支給することを希望します。</p>
14	<p>《子供向けイベントの増加について》 子供の数が減少している中で、市民を増やしていくためには魅力ある街にする必要があると考えます。特に子供がいる世帯の流入は、複数人の増加につながるため、税制優遇・医療無償化拡大と、健康表彰の追加・全員が参加できるイベントの企画を行って、メディアを使って魅力ある街をアピールしてほしいと考えます。</p>
15	<p>子育て中のママさんやお子様たちが集まり、月に一度のごみ拾いアクションというごみ拾いの活動をしています。現在の教育というのは、多くが教科書などの通りに覚えることが一番良いとされる傾向にありますが、自分達が住む街にごみが捨てられて、そのまま放置されている状況を、大人も子どもも見ても見ぬふりではなく、そこからどのように地域を良くしていくのか、そのような教育も大切だと感じます。南一番街にある街路樹の根元に捨てられているごみは、ごみ捨て場のような状況になっております。そのようなことについても、色々な意見交換ができる機会がありましたら、幸いと感じます。</p>

No.	意見・要望
16	時代と共に教育方法の変化もあり、最近ではマスクを学校でも着用することがあるようです。子どもにとって、心身の育みはとても大切です。不登校の子どもが増えてきているのも、教育現場へのメッセージではないのかと思います。働くママも増える中で、家族との関わり方が希薄になるのではなく、そのような中でも、ゆとりを持って接することができる環境づくりも課題となっていくのではないのでしょうか？
17	今の世は豊かで便利になったら、スマホやネットで友人を自殺に追い込むまで嫌がらせをする。友人が亡くなっても、左程ビックリしない。いつもどこかの学校でそんなニュースが出てくる。注意すれば逆恨みで何をされるかわからない世の中。幼児の手を離せば車の事故に遭う、そんなことも何度もニュースになり、悲しいです。
18	通学路の安全確保のため、南新井町内の歩道と車道を区別する白線、横断歩道の白線の引き直しをお願いします。

議会への意見・要望など

No.	意見・要望
1	今回の中止は時節柄、致し方ないと思いますが、準備をしておいて、いつでもWEB会議に切り替えられるように、柔軟な体制にしておくことも今後は必要ではないかと思えます。1100億円の予算をうまく使ってください。文書・コピー・通信費もばかになりません。（雑紙として再利用されるとしても）
2	市議会の方と直接意見を交わす機会はなかなかないので、今回の機会は大変、市民をその気にさせる意味でも、効果的であると感ずります。これに懲りず、是非今後とも語り合う機会を設けてもらえればと思えます。
3	残念なことは、令和3年度太田市議会報告資料を拝見すると、時間の経過でしょうか、水害に関わる記載がないことは被災地の住民とすれば非常に残念です。また、党派やクラブ等の活動報告にも、ほとんど災害のことが記載されない現状に、失望すら覚えます。大きな避難所と称される体育館の狙いは、Bリーグであり、危険な環境が改善される方向性すら見えてこない現状に、この環境から脱出できない住民の思いを届けてくれる方は何処にいるのでしょうか。地元の議員様の努力だけでは解決できません。会派を超えた太田市の議員様が一丸と成って対応することはできないものでしょうか。太田市の片隅で、し尿処理やごみ焼却場を抱え、背負っている沢野住民にご支援をお願いします。
4	この交換会には、あまり良い印象を持っていない。入場者には携帯の電源を切るようにとのチラシが配られるが、過去の交換会で、いざ入場して進行が進む中で、議員団の後ろの列のある議員が、電話がかかってきたらしくスマホを操作していた。また、私が田んぼの水路のことを質問したところ、「それは待矢場に聞いてくれ」との返答だったが、実際は農村整備課の所管だった。知らないなら知らないという返答の方が良かった。言葉だけでその場をかわされたようで、誠意を感じなかった。それ以来、この交換会は、出席されている議員の資質・熱心さ・人柄を見る会と思っています。
5	市政に対する意見・要望と言っても、私たちは常に興味を持って見ているわけでもない。この会でいつも思うのは、いつも市政に向き合っている市議会議員さんが、この交換会で市政の良い点、危うい点、問題点などを解説してほしいと思えます。
6	この交換会で配られる「市議会報告資料」の議案について、以前に件名だけでなく、もう少し細かい説明を付けて欲しいと言ったが、今回の資料を見るに変わってないように見えました。
7	市議会議員に、年4回の定例会閉会後に、必ず1回以上、地元か何処かで報告会を行わせる義務を負わせればと思う時があります。葬式やイベントに参加しているだけでは？
8	行政と市民が協し合える環境で、心にも経済的にも一人一人にゆとりが出来てくる様な政策をしていただけたら幸いです。いつもありがとうございます。

No.	意見・要望
9	議会の傍聴には何回か参加している。金山中学校で傍聴した人は、「こんなのがあるのかい」と感動していた。5年目になった金山中学校は、コロナ禍で中止となっている。傍聴していて、市民からしたら、知らないこと、質問したいことがあっても、それができないのは残念です。
10	太田市の情報を知る方法としては、これからはホームページやスマホへなっていますが、まだまだ広報紙やポスターなどで知らせてほしい。また、イベントを小学校のポスターコンテストで盛り上げてもらうと、市民の関心度が高まります。
11	このような機会を多く設けられると良いかと思います。
12	日頃、環境委員として活動する中で、ルールが守られていないゴミに手を焼いています。現場を良く理解していただき、より良い対策をお願いします。
13	どこの議会でも同じと思いますが、行っていることや各議員の成果が見えないと思うので、もっと活動成果をアピールしていただくとともに、魅力ある・独自性のある街に変えていただくと期待しています。
14	<p>学童保育は半日仕事とお考えではないでしょうか。多大な事務仕事、保育の準備・検証、打ち合わせ、おやつ作り、学習等。また、他学童との学び合いもあります。保育の質の向上には、学び合いと連携が必要です。専任複数、補助の人、障がいのある子を受け入れていけば、より多くの人出が必要です。安心・安全な保育はもちろんですが、毎日自分の意志で通い、楽しく生活できる場、遊びを通して皆が成長できる場を保障する所、保護者の皆さん、学校、地域の方々、そして指導員の支え合いが大事な所です。</p> <p>子どもたちの情緒の安定のためにも、働く保護者を支えるためにも、指導員が長く働き続けられるよう、処遇改善をして欲しい、他の職種との賃金格差を是正して欲しいです。社会保障がしっかりしていなければ、若い人は入って来ません。「監視」や「管理」の世界ではないのです。生きている子どもたちとの生活の場なのです。よろしくご理解の上、ますますのご協力をお願いいたします。</p>
15	太田市外三町広域斎場整備基本計画で、建設地が大泉町外三町斎場及びその隣接地に決まりそうだが、太田市が中心地であり、町ではなく市内に適地を探すべきである。住宅街だといろいろ反対もあるうが、郊外または山の一角なり、いくらでもあるはず。根気よく、真剣に検討すべき。議会もこれを認めるようでは、議会の存在価値がないと思われるかもしれない。一考を。
16	新田地区に、複合施設ができるのは良いが、保健センター等が統合されるのであれば、反対すべき。
17	新型コロナウイルス感染者が群馬県もかなり深刻である。太田市も伊勢崎市に次いで、県内では多い。これは深刻に受け止め、議会としても対策を真剣に考えるべき。
18	市からの提案のチェックだけでなく、政策立案能力も発揮してもらいたい。（議員立法）
19	市議会一丸となるためにも、会派は必要ない。県内でも先頭を切って、会派なしの議会にしたら評価される。
20	<p>ここ数十年市議会を傍聴しての疑問点</p> <p>①旧市民会館耐震補強工事について、内装工事だと言っていたが、経費をかけたのに取り壊し、新しい市民会館を安い見積書で議会を通過させるのに、7年かかったと言って、その後の追加経費はみなさんご存じのとおりである。</p> <p>②駅南側ビル建設の際に、建設費がアップし、議会で6億円計上し可決となった。</p> <p>③学校の合併について、地元住民の2千人弱の反対する意見を無視して建設している。</p> <p>④昨年の議会で沢野地区の防水対策への質問をある市議会議員がしたら、対策をしていないので答えられず、議会がストップした。</p>

No.	意見・要望
21	<ul style="list-style-type: none"> ・東新町工業団地開発時の幅13mの道路が行き止まりのまま放置されている。陳情するも費用対効果がないと採択されない。 ・採算が採れていないのに、太田市で3カ所もインターを造っている。 ・長寿祝金を減額するのは、他市並みにするとのことですが、太田広報等の無駄。 ・箱もの行政でインフラ整備が遅れているので何とかしてください。
22	<p>太田市議会がきちんと市民の声を受け取って、太田市行政に対する牽制機能を発揮し、よりよい太田市にしてくれることを期待しています。</p> <p>コロナの対応について、接種の立ち上がりは遅いが遅かった。高齢者への電話対応は長期に渡る自転車操業、さらに長時間残業により、担当した職員に「こころの病気」が発生しないか、危惧しています。</p>
23	<p>コロナ禍で不安を抱えながら保育をしています。国は一斉休校の際には、働く親の保障として学童を開所としたが、学校より明らかに密な学童を開所したことは、国として学童の認識がかなり低いと感じた。もちろん学校で感染が拡がることも大変だし、教育現場もかなり大変だと思うが…。太田市は下校時間まで学校での預かり等もあって、少なからず朝から開所していた他の地域の学童よりは、負担は少なかったが…。国からは、その後開所に合わせて補助金等で補償はあったと思うが、現場にはそれ以上の負担があったと思う。医療機関、保健所等ひっ迫でどこも大変だと思うが、2歳以上の子にマスク推奨とか、小学生にマスクをはずさなくてはいけなくなるような激しい遊びをしない等、子どもに制限をかけるより、他の対策を国、県、市で考えていって欲しいです。</p>
24	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大変な時期ですが、年度初めに一度市の方と話す場を開ければ幸いです。 ・現在、自分が所属している学童は指導員体制が整っていません。（人材が不足しています。）仕事歴も長くなり、金銭面の問題（安賃金で若い人が入ってこない）も多くあります。その点もまた色々話してもらえたらと思います。コロナ禍で学童が注目されてきています。ここで「太田市の学童はこんな取り組みを早くから取り入れている」という部分を見せられれば、また市のイメージ、学童のイメージが変わると思います。
25	<p>吉沢町2区は太田市の外れに位置しているため、公共交通がない上に住宅地や商業施設もないことから、「ここでは子育てができない」と高齢の親を置き、若い子育て世代の人達が出て行ってしまいます。こうした「市中心部と郊外部の格差」をどう見られておるのか？例え産業団地を造成しても、増えるのはトラックや通勤の自動車ばかりで、中には急ぐあまり脇道を猛スピードで抜けて行く車も出現します。つまり、地元之恩恵は何もなく、危険が増えるだけなのです。せめて安全に移動できる公共バス運行はできないものなのでしょうか。そうすれば地区の高齢者だけでなく、高校生をはじめとした学生も安全に移動ができるはず。また、産業団地ができれば、そこに通勤する社員がいるはず。その人達のためにも、住宅地の造成を行うべきではないでしょうか？そうすることにより賑わいが生じ、市中心部との格差を是正することができると思います。「コンパクトシティー」とは何も一カ所に集約すれば良い訳ではないと思います。「移動手段の確立」ができれば、市全体がコンパクトシティーになるはず。これからはCO2削減が必須課題なのに、車を減らすことを何故考えないのか？交通弱者だけでなく、一般通勤者も公共交通を使うべきなのです。市はタクシー業界に何故物申せないのか？</p>